



佐世保市立花高小学校



=めざす児童像=
考える子
やさしい子
元気な子

所在地 佐世保市花高3丁目4番1号
校長 迎 和人
児童数 628名
学級数 22学級



小森川自然体験学習（3年生）
～水生生物とのふれあい～



保育所・幼稚園との交流会（5年生）

1 目的

- 児童の発達段階に応じた様々な学習活動を通して、命や環境の大切さを学びとともに、学校が一人一人にとって楽しい学びの場となることで、学校教育目標である「元気な子」「考える子」の具現化を目指す。
- 活気と潤いのある学校環境を整備するために、学級園等において学年に応じた草花や作物の栽培を推進する。また、地域の方との交流や平和学習等を通して児童の情操を高め、命を大切に育てる心をもつことにより、学校教育目標である「やさしい子」の具現化を目指す。
- 校内研究主題である「やさしさあふれる社会を創る子どもの育成～一人一人の教育的ニーズに応え、個性の伸長を図る日常・学習活動の充実～」を推進していくために、特別支援教育の考え方をベースに、主観的・客観的児童理解の充実を図るとともに、生命尊重、親切・思いやり、規範意識を重視した学びの深化を図りながら、やさしさあふれる自他の関わりを身に付けることを目指す。さらに、落ち着きある生活が送れるよう「あいさつ・返事・廊下歩行・ふわふわ言葉」を啓発することにより、学校教育目標である「考える子」「やさしい子」「元気な子」の具現化を目指す。

2 実践内容

対象 学年	活動 時期	活動 場所	活 動 内 容
1年	11月	中庭	<p>【チューリップの球根を植えよう】</p> <p>地域ボランティア「花のわ会」の方々をゲストティーチャーに迎え、春に咲く花、チューリップの球根の植え方を教えていただいた。球根が寒さに耐えることできれいな花を咲かせることなど、貴重な話をしていただき、子ども達も真剣に聞くことができた。活動を通して、命の大切さに改めて気づくことができた。</p>
	12月	体育館 教室	<p>【昔遊びをしよう】</p> <p>保幼小連携事業の活動として、近隣の保育所や幼稚園の年長クラスの園児を招待してた。1年生は、前月の授業参観で保護者と一緒に昔遊びを楽しんだ経験を生かし、園児に約束事を教えたり、遊び方を紹介したりすることができた。活動を楽しみながら思いやりの心を育てることができた。</p>
			
2年	5月 ～ 8月	学年園	<p>【ぐんぐんのびろ】</p> <p>生活科で、キュウリ・ナス・ピーマン・エダマメ・ミニトマトなど、夏野菜の苗を植えて育てる学習に取り組んだ。水やりや草取りなどの世話を熱心に行うことで、どの野菜も順調に成長し、収穫の喜びを味わうことができた。また、日ごろ食べている野菜を実際に育ててみると大変な苦労があることを知り、食物の大切さを改めて感じる事ができた。中には、普段は野菜を苦手にしていながら、自分たちで育てた野菜は「食べてみたい」と話す児童も</p>
			<p>現れ、食育指導の上でも大いに役立った。野菜一つ一つの大きさの違い、小さかった苗が丈夫に根付いていく様子などを観察することを通して、命の大切さにも気付くことができ、有意義な活動となった。</p>
	2月	学年園 など	<p>【花を育てよう】</p> <p>春に向けて学校を花いっぱいにするために、チューリップ・ノースポール・アリッサムなどの花苗を植える活動を行った。学校管理員にも協力してもらうことで、苗の取扱い方や正しい移植の仕方を学ぶことができた。学年園のスペースと併せてプランターも使うことで、卒業式の式場や式場周辺を綺麗に飾りたいという思いをもって活動することができた。</p>

3年	6月 ～ 7月	小森川	<p>【小森川自然体験学習～水生生物とのふれあい～】</p> <p>「小森川を守る会」の方々をゲストティーチャーに招き、2回に分けて実施した。川遊びから始まり、水生生物の採集・観察や生物指標を使った水質検査などの活動を通して、小森川の様子を詳しく知ることができ、地域の自然の豊かさに気づく良い機会となった。また、地域の方々の小森川への熱い思いを受けとめることで、子ども達は自然環境を守る大切さを感じ、自分たちのふるさとに流れる川を大切にしようという思いをもつことができた。</p>
	11月	運動場	<p>【お年寄りと交流しよう～花高 GGC の方々とのグラウンドゴルフ交流～】</p>  <p>地域の方との交流を図るために、校区内で活動されている花高グラウンドゴルフクラブ（花高 GGC）の方々をお迎えして例年行っている活動で、今年も2回に分けて実施した。基本的な打ち方から始まり、ゲームの進め方やルールまで手取り足取り教えていただきながら、グラウンドゴルフを楽しむことができた。活動を通して、お年寄りの方々との心の交流が深まり、地域人材の活用や開かれた学校づくりを推進することができた。花高 GGC のメンバーの中には登下校時の見守り活動をされている方もいらっしゃるため、今回の交流が子ども達の元気な挨拶にも繋がっている。</p>
4年	6月 ～ 8月	長崎市 体育館	<p>【平和について考えよう】</p> <p>長崎市へ出かけ、現地で平和学習を行った。全校児童が折った千羽鶴を平和公園に捧げて、原爆の被害に遭われた方々の御冥福を祈ることができた。班別学習では、各班に「長崎平和推進協会」のガイドの方についていただき、平和公園付近の被爆遺構を巡る活動を行った。ガイドの方に体験談を交えた詳しい説明をしていただくことで、貴重な体験学習となった。事後は、原爆資料館の見学で学んだことも含めた学習のまとめを行い、8月9日の平和集会での発表に繋げることができた。平和の大切さを自分たちの言葉でしっかりと伝えることができた。</p>
	11月	体育館 など	<p>【高齢者・障がい者疑似体験】</p> <p>「佐世保市福祉活動プラザ」よりゲストティーチャーを招き、福祉体験学習を行った。車椅子や装具、アイマスクなどを使って、体が自由に動かない状態や目や耳が不自由な状態を実際に体験することで、高齢者や障がい者の苦労を実感することができた。併せて、階段の昇降などの場面での介助の仕方も教えていただき、困っている人への接し方を学びながら、実践への意欲を高めることができた。</p> 

<p>5年</p> <p>5月 ～ 2月</p>	<p>校内田</p>	<p>【米作り体験学習】</p> <p>社会科の学習とも関連させながら、総合的な学習の時間の取組として米作り体験を行った。田おこしや代掻きなどの田作りから始まり、6月には、地域のゲストティーチャーの小川さんに田植えの仕方を教えていただきながら、一人あたり3～5株の苗を植えることができた。10月には、同じく小川さんの御指導のもと、のこ鎌を使った稲の刈り取り作業を全員が体験することができた。精米した米を使って家庭科の調理実習も行い、収穫の喜びを味わうことができた。2月に学習のまとめを行った後、子ども達が書いた手紙を小川さんに届け、感謝の気持ちを表すことができた。</p> 
<p>6年</p> <p>2月</p>	<p>体育館 運動場 など</p>	<p>【保育所・幼稚園の子どもと交流会をしよう】</p> <p>保幼小連携事業の活動として実施した。近隣の保育所や幼稚園の年長クラスの園児を招待し、学校案内やグループ遊びの交流を行った。次年度4月に新入生として迎え入れる相手に思いやりの心をもって接しながら、もうすぐ最上級生となる心構えをもつことができた。</p>
<p>1年 ～ 6年</p>	<p>年間</p> <p>教室</p>	<p>【感謝の気持ちを伝えよう】</p> <p>6年間、毎日の登下校を見守ってくださった「見守り隊」の方々や、花のお世話やアドバイスをしてくださった「花のわ会」の方々、「放課後子ども教室」や「図書ボランティア」の方々など、多くの地域ボランティアの皆さんに感謝の気持ちを伝えるために、メッセージを添えたプレゼントを制作した。活動を通して、卒業への意識が高まり、多くの方々に支えられていることの幸せに改めて気づくことができた。</p> 
	<p>年間</p> <p>教室 家庭</p>	<p>【「学びの下敷き」の活用】</p> <p>家庭学習の手引きを印刷した下敷きを使用することによって、子どもの学習習慣の定着を図ることができた。また、下敷き裏面の学習の心構えや発表の仕方を活用することで、授業に望む心構えや、相手を意識した話し方や聞き方ができるようになってきている。</p>

